



## PSU 交流説明会へ 80 人参加、30日に抽選会

人文学部は、4月16日（木）と21日（火）の両日、5月と9月に開催する協定校、米ペンシルベニア州立大学との交流事業に参加する学生を募集するための説明会を開催した。



2月に開催の初回を含めて計80人が参加、海外協定校との交流に対する茨大生の意欲の高さを見せつけた。4月30日（木）には、来日するPSU生に付き添う茨大生のグループ分けのための抽選会を実施する。一行は、1週間の日程で、5月の14日（木）から茨大を訪問する。

説明会は、まず、今年の5月と9月に実施した交流を撮影した、5分程度にまとめたビデオ（人文HPから閲覧が可能）を鑑賞。その後、古賀国際交流委員長による、米PSUの概要の説明を受けた。



PSUは、独立した当時の東部13州の一角を占め、学生数が4万5000人を誇る総合大学。キャンパス内に空港やフット

ボール競技場を抱えるなど広大な敷地は、米国ならではのサイズである。

交流事業は、水戸で開催される5月の交流だけに参加するタイプと、9月に訪米する2タイプがある。参加を希望する学生は、5月の交流では、PSU生の通訳兼案内役として、最終日に発表するプレゼンテーションのための調査で協力する。

最終日に英語による発表のため滞在中に PSU 生の支援を得て調査活動に取り組む 9 月の訪米は、参加学生を 15 人程度と想定している。希望者が多い場合は、TOEFL や TOEIC の成績で選抜する。

参加費用は、航空運賃と滞在費併せて 30 万円程度、これに帰国前のニューヨーク研修（主にホテル代）などの費用数万円が加わる。日本学生支援機構から支援金が出るが、これには保護者の所得制限があり、場合によっては得られない学生も出てくる。



最後に、昨年 9 月研修に参加した 4 人の学生から体験談、



「この研修の経験が就活で大いに威力を発揮している」（人文 4 年：磯部）、  
「スピーキングに自信を持てるようになった」（人文 3 年、櫻井）、「とてもいいプログラム、是非参加を」

（人文 2 年、大曾根）、「英語に対する世界観が変わった」（教育 4 年、菊池）などが披露された。

参加学生を対象にした、スケジュールの配布による打ち合わせ会は 4 月 30 日正午から人文学部 C 棟 406 で開催される。この場で抽選を実施し、9 つのグループに分けて、9 人の PSU 生の水戸滞在を支援する。 （終）

